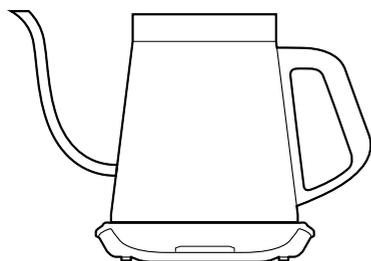


siroca

温度調節電気ケトル

SK-D271



取扱説明書 保証書つき

このたびは、シロカ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

会員登録・機器登録でもっと楽しく便利に

シロカクラブ

新規会員募集中 登録料・年会費無料



うれしい会員特典

- 部品・消耗品が最大20%OFF* 登録はこちら
- 製品のお役立ち情報、新製品情報などもお届け

*割引率は部品・消耗品によって異なります。一部対象外の製品もございます。

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならないでください。
日本国内専用
USE ONLY IN JAPAN

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	6
知っておいていただきたいこと	8
使いかた	9
お手入れ・保管のしかた	17
故障かなと思ったら	19
仕様	21
部品・消耗品	22
保証とアフターサービス	23
保証書	24

安全上のご注意

— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。

お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止(してはいけない内容)を示します。



強制(実行しなくてはならない内容)を示します。



警告

本製品の取り扱いについて



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない
発火・感電・けがの原因になります。修理は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



禁止

子ども、取り扱いに不慣れな人、補助を必要とする人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない

やけど・感電・けがの原因になります。操作できる人が必ず付き添ってください。



水ぬれ禁止

本体の底部や電源プレートに水をかけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。接続部は絶対にぬらさないでください。



接触禁止

湯沸かし中や湯沸かし後は本体や注ぎ口、蒸気口に触れたり、手や顔を近づけない
やけどの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

水が0.14Lより少ない状態で加熱しない
湯が注ぎ口から飛び出してやけどの原因になります。また、温度が正常に検知できません。



禁止

滴水目盛 (MAX 0.8L)

以上の水を入れない

湯がふきこぼれて、やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

ふたを開けたまま使わない

湯沸かし中は、ふたを確実に閉めてください。ふたを開けたまま使うと蒸気が漏れ、湯が流れ出てやけどの原因になります。



禁止

注ぎ口をふきんなどでふさがいない

湯がふきこぼれて、火傷の原因になります。



禁止

本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよくふったり、ふた(ふた開閉つまみ)を持って移動や排湯をしない

湯がふきこぼれて、やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

本体を転倒させない

湯が流れ出て、やけどの原因になります。本製品には給湯ロック機構は付いていません。ふたが閉まっても、転倒時の状況によっては注ぎ口などから湯が流れ出るおそれがあります。



ふたは確実に取り付ける

倒れたときに湯が流れ出て、やけどの原因になります。



禁止

本体や電源プレートを落としたり、衝撃を加えたりしない

感電・故障の原因になります。



禁止

本体の底部や電源プレートの接続部(金属部)にピンなどの金属片やごみを附着させない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

ガス火にかけたり、電気ヒーター・IH調理器・電子レンジなどで使わない
火災・熱による変色・変形・故障の原因になります。



本製品は一般家庭用途および次のような類似用途で使用する

- 商店、オフィス、またはその他の作業環境にあるスタッフ用キッチンでの使用
- 居間やキッチンなど住居に類似した環境での使用ただし、不特定多数による長時間の使用は避けてください。

警告



禁止

水以外のものを入れたり、沸かしたりしない

湯沸かし以外の目的では使わないでください。
牛乳・紅茶・酒・スープなどを入れて使うと、泡立って内容物がふき出して火傷の原因になります。
また、ビンやカップ、レトルトパックなど液体以外のものを入れて使うと、故障・汚れ・焦げつきの原因になります。



禁止

氷を入れて保冷用に使わない

冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障の原因になります。



子どもが本製品で遊ぶことがないように注意する

やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

ふたを勢いよく閉めない

蒸気によるやけどの原因になります。
原因になります。



湯を注ぐときは電源プレートの接続部に水がかからないよう注意する



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。
<異常・故障例>

- 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- 異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- 本体が作動しない など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。

警告

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ゆるみやガタつきがあるコンセントを使用すると、電源プラグと十分な接触が得られず、異常発熱し、発火の原因となります。

コンセントにゆるみやガタつきのある場合は、お近くの電気店に修理をご依頼ください。



禁止

電源コード・電源プラグが破損するようないことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む、束ねる など



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



禁止

電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼する
感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

加熱が停止していることを確認してから、電源プラグを抜き差しする
けがの原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く
やけど・感電・けがの原因になります。



禁止

本体の底部や電源プレートの接続部(金属部)をなめさせない
感電・けがの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。

注意

使用上の注意事項



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない

火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。
じゅうたん、ふとん、畳、テーブルクロス、プラスチックの置台 など



禁止

壁や家具、カーテンの近くでは使わない

火災・事故・変色・変形の原因になります。



禁止

ストーブやガスコンロなど熱源・火気の近くやIHクッキングヒーターの上では使わない

変形・故障の原因になります。



水ぬれ禁止

水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない

ショート・感電・故障の原因になります。



本体と電源プレートのあいだに汚れや異物がいないか、接続部がぬれていないか確認して電源を入れる

汚れや異物が挟まれたまま使うと、異常発熱し、火災・故障の原因になります。



禁止

ふたを外すときは出る蒸気に触れない。

やけどの原因になります。



禁止

ハンドルにガタつきがある場合は使用しない

けがの原因になります。



禁止

市販のタイマー機器を接続して使用しない

故障の原因になります。



禁止

専用の電源プレート以外は使わない
電源プレートは他の機器に転用しない
発火・故障の原因になります。



禁止

湯沸かし中は、本体を移動しない

湯が流れ出たり、蒸気に触れたりして、やけどの原因になります。



禁止

湯沸かし中は、ふたを外したり、湯を注いだりしない

湯がふきこぼれ、やけどの原因になります。



禁止

空だきをしない

水が入っていない状態で通電すると、故障の原因になります。



禁止

湯沸かし中や湯沸かし後はハンドル以外に触れない。

本体や電源プレート接続部などが高温になるため触れると、けが・やけどの原因になります。



お手入れは冷えてから行う

高温部に触れ、やけどの原因になります。



持ち運ぶときやお手入れをするときは、注ぎ口の先端に注意する

注ぎ口の先端は鋭利になっています。けがをしないように注意してください。



プラグを抜く

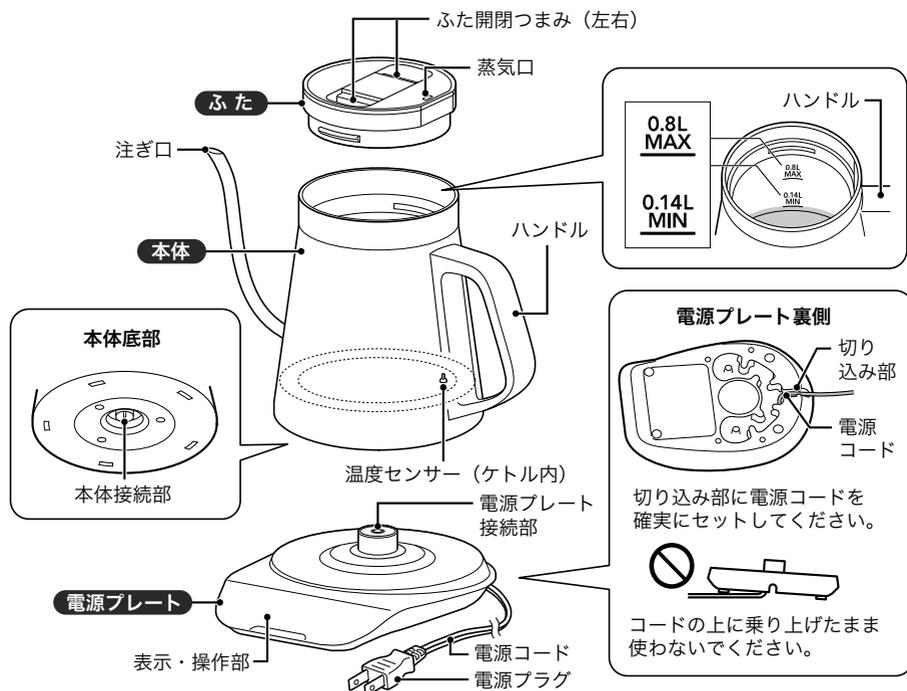
使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く

使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

おしらせ

- 初めにお使いになるとき、ふたや本体内に水や白い跡が残っていることがあります。これは出荷前に湯沸かし検査などを行っているためです。一度湯を沸かし、注ぎ口から湯を捨ててご使用ください。

| 各部のなまえ



▶ 転倒時湯もれ防止機能の働き

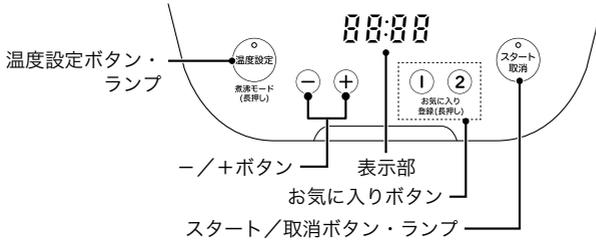
この製品には、転倒時湯もれ防止機能がついています。万一転倒したときに、ふた内のおもりが弁となり、湯もれをおさえる構造です。
湯を注ぐときや、ふたを開閉するときの“カラカラ”という音は、おもりが動く音ですので故障ではありません。

本取扱説明書に記載の通りのご使用において、転倒したときの湯漏れをおさえる構造となっておりますが、給湯ロック機構は付いていないため、ふたが閉まっても、転倒時の状況によっては注ぎ口などから湯が流れ出るおそれがあります。充分ご注意ください。

表示・操作部

表示部には現在の水温や設定温度、保温時間などが表示されます。操作部は状態により、できることとランプ表示が異なります。

本製品のボタンは、タッチセンサー式です。強く押さずに、指で軽くタッチして操作してください。



次の場合は、ボタンが反応しないことがあります。

- ・素早く押したとき
- ・指やボタンがぬれていたり、汚れているとき
- ・指にばんそうこうや傷テープをしているとき

ボタン	待機中	温度設定中 お気に入り登録呼び出し中	加熱中	保温中
温度設定 ボタン・ランプ	加熱モードで湯を沸かす 長押し：煮沸モードで湯を沸かす ランプ：消灯	登録済み温度を選ぶ 長押し：加熱モードと煮沸 モードを切り替える ランプ：点灯	設定温度を確認・ 変更する ランプ：消灯	設定温度を確認・ 変更する ランプ：点灯
スタート/取消 ボタン・ランプ	沸とうモードで沸とうさせる ランプ：消灯	加熱を開始する ランプ：点滅	加熱を取り消す ランプ：点灯	保温を取り消す ランプ：点灯
-/+ボタン	保温時間を変更する 16ページ	設定温度を1℃単位で設定 する	—	温度表示と残り時間 表示を切り替える
お気に入り ①/②ボタン	お気に入り登録した設定内容を 呼び出す 14ページ	長押し：設定内容をお気 にり登録する	—	—

| 知っておいていただきたいこと

- 表示部の水温と実際の水温のばらつきについて
本製品の測温方式上のばらつきやご使用環境などの条件により、表示部に表示される水温と実際の水温に若干の誤差が生じる場合があります。
- 97°C～100°Cで温度設定した場合の保温について
「加熱モード」および「煮沸モード」で温度設定を97°C～100°Cにした場合は、96°C前後で保温します。

ご注意

- 本製品はポットと異なり、加熱中や保温中に本体が熱くなります。加熱中や保温中は《スタート/取消》ランプが点灯してお知らせします。《スタート/取消》ランプ点灯中はハンドル以外に触れないでください。やけどの原因になります。
- 取り扱いを誤ると、やけどなどの危険がありますので、本書に記載の注意事項を必ずお守りください。

加熱中・保温中
点灯

スタート
取消

おしらせ

- 本製品は温度調節をしながら加熱します。温度調節時に断続的に「カチツ」と音がしますが、故障ではありません。

空だき防止・温度異常検知機能について

本体が空の状態や水量が少ない状態で加熱したり、水以外の液体を加熱したりすると、事故や故障を防ぐために空だき防止機能または温度異常検知機能が働き、表示部に「CO1」または「CO2」が表示され、ブザーが鳴り、加熱を停止します。

ご注意

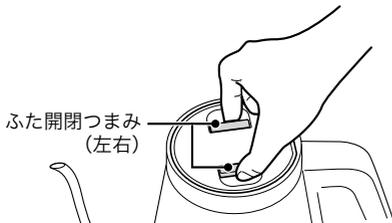
- 空だき防止機能または温度異常検知機能が働いた場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 空だきをすると、変形・変色・火災・故障の原因になります。

| 使いかた

ふたの開閉

▶ 開けかた

ふた開閉つまみをつまみながら、上に持ち上げる



▶ 閉めかた

ふたと本体の形状を合わせて、“カチッ”と音がして2か所のツメがはまるまでしっかり上から押す



準備する

初めてお使いになるときや、長期間お使いにならなかった場合は、一度湯を沸かし、注ぎ口から湯を捨ててご使用ください。

1

電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プレートの電源プラグをコンセントに差し込みます。表示部が点灯し、現在の水温が表示されます。

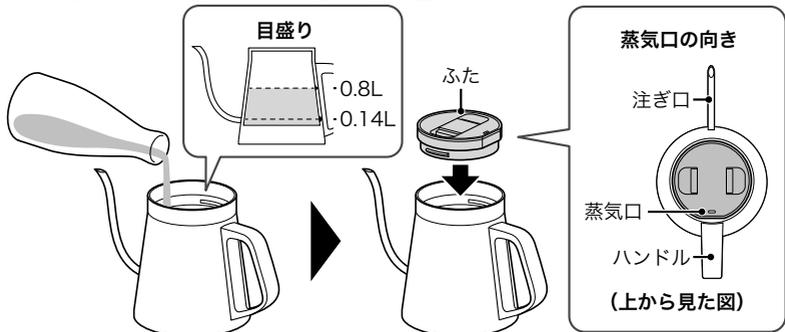
ご注意

- 電源プレートを平らな安定したところに置いてください。

2

水を入れ、ふたを取り付ける

- ふたを“カチッ”と音がするまで確実に押し込みます。



ご注意

- 本体に水を入れるときは、本体外部に水がかからないように注意してください。
- 電源プレートから本体を下ろした状態で水を入れてください。
- 流し台などのぬれた場所に置かないでください。
底面がぬれて故障の原因になります。
- 満水目盛り(MAX 0.8L)以上の水を入れないでください。
湯がふきこぼれて、やけど・感電・けがの原因になります。
- 水は0.14L以上入れてください。
水が0.14Lより少ない状態で加熱すると、湯が注ぎ口から飛び出してやけどの原因になります。また、温度が正常に検知できません。
- まれに本体の内側にしみがついている場合がありますが、製造上の磨き工程によるものであり、衛生上問題ありません。気になる場合はクエン酸洗浄を行ってください。➡「本体内部の汚れが落ちにくいときは(クエン酸洗浄について)」 **18ページ**

3

本体を電源プレートにのせる

- 電源プレートと本体のあいだに異物がないか、接続部やその周囲がぬれていないか確認してください。

ご注意

- 交流100Vのコンセントを単独で使用してください。
他の機器との併用により定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



機能について

- 本製品には3つの湯沸かし機能があり、沸とうまたは加熱後、自動的に30分間保温します。保温時間は変更することができます。
 ➔「保温時間を変更するには」 **16ページ**
- また、温度調節可能な加熱モード、煮沸モードでは、登録済み温度から選ぶか、60°C～100°Cまで1°C単位で温度を設定することができます。加熱中や保温中も設定温度を変更できます。また、モードと設定温度をお気に入り登録することができます。➔「お気に入り登録した温度で湯を沸かす」 **14ページ**
 登録済み温度…60°C、70°C、80°C、85°C、90°C、95°C

機能	内容	操作の流れ (機能を選ぶ→温度を調節する)		
沸とうモード	温度調節：不可(100°C固定) 水を沸とうさせたあと、保温します。	《スタート/取消》ボタンを押して加熱スタート		
加熱モード	温度調節：可能 設定温度まで加熱、保温します。 (沸とうはさせません。)	《温度設定》 ボタンを押す	登録済み温度から選ぶ 《温度設定》ボタンを押す	《スタート/取消》 ボタンを押して加熱 スタート
煮沸モード	温度調節：可能 水を沸とうさせたあと、設定温度 で保温します。	《温度設定》 ボタンを 長押しする	1°C単位で温度を設定する 《+》《-》ボタンを押す	

▶ 煮沸モードについて

煮沸モードでは、沸とう後、設定温度に自然に下がるまで時間がかかります。

水を沸とうさせる(沸とうモード)

沸とうモード：《スタート/取消》ボタンを押す

すぐに加熱が始まります。加熱中は《スタート/取消》ランプが点灯します。

加熱中は温度表示が徐々に上がり、100°Cになると沸とうが完了します。

25°C ▶ 100°C
(現在の水温)

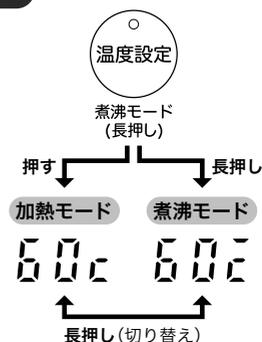
お好みの温度で湯を沸かす(加熱モード・煮沸モード)

1

機能を選ぶ

- 加熱モード：《温度設定》ボタンを押す
- 煮沸モード：《温度設定》ボタンを長押しする

いずれかのモードを選択中に《温度設定》ボタンを長押しすると、加熱モードと煮沸モードが交互に切り替わります。



2

温度を調節する

現在の設定温度が表示されます。温度を変更しない場合は手順3に進んでください。
なにも操作しない状態で約3分たつと、待機状態に戻り、現在の水温が表示されます。

登録済み温度から選ぶときは

《温度設定》ボタンを押す

ボタンを押すごとに温度が切り替わります。60°C→70°C→80°C→85°C→90°C→95°C

1°C単位で温度を設定するときは

《+》ボタンまたは《-》ボタンを押す

《+》ボタンを押すと設定温度が上がり、《-》ボタンを押すと設定温度が下がります。
温度は60°C～100°Cまで、1°C単位で設定できます。

3

《スタート/取消》ボタンを押す

加熱が始まります。加熱中は《スタート/取消》ランプが点灯します。加熱を中止するときは《スタート/取消》ボタンを押します。

加熱モード

25℃ ▶ 95℃
(現在の水温) (設定温度)

煮沸モード

25℃ ▶ 100℃ ▶ 85℃
(現在の水温) (設定温度)

おしらせ

- 加熱中に電源プレートから本体を取り外すと加熱が停止します。再度加熱するときは、電源プレートに本体をセットして操作しないおしてください。

ご注意

- 湯沸かし中は、ふたを開けたり、手や顔を近づけたりしないでください。やけどの原因になります。
- 湯沸かし中や湯沸かし完了直後は、本体が非常に高温になります。ハンドル以外に触れないでください。

▶ 加熱中に設定温度を確認・変更するには

《温度設定》ボタンを押すと、現在の設定温度が表示されます。

設定温度を変更する場合は、続けて《温度設定》ボタンまたは《+》ボタン、《-》ボタンを押して設定温度を変更し、《スタート/取消》ボタンを押します。

設定温度を変更後、なにも操作しない状態でしばらくたつと、設定温度の変更は行わずに加熱状態に戻ります。

| 使いかた

お気に入り登録した温度で湯を沸かす

▶ お気に入り登録する

- 1 《温度設定》ボタンまたは《+》 / 《-》ボタンで温度を選ぶ
《温度設定》ボタンを長押しすると、加熱モードと煮沸モードが交互に切り替わります。
- 2 お気に入り登録《①》ボタンまたは《②》ボタンを長押しする

▶ お気に入り登録した温度で湯を沸かす

- 1 お気に入り登録《①》ボタンまたは《②》ボタンを押して、お気に入り登録内容を呼び出す
- 2 《スタート/取消》ボタンを押す

▶ お気に入り登録を変更する

- 1 お気に入り登録《①》ボタンまたは《②》ボタンを押して、お気に入り登録内容を呼び出す
- 2 《温度設定》ボタンまたは《+》 / 《-》ボタンで温度を選ぶ
《温度設定》ボタンを長押しすると、加熱モードと煮沸モードが交互に切り替わります。
- 3 お気に入り登録《①》ボタンまたは《②》ボタンを長押しする

湯を注ぐ・保温する

1

沸とうまたは加熱が終わったら、湯を注ぐ

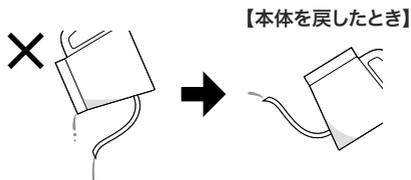
沸とうまたは設定した温度になるとブザーが鳴り、自動的にその温度で保温します。保温中は《スタート/取消》ランプが点灯します。《+》ボタンまたは《-》ボタンを押すと、温度表示と保温時間の残り時間表示を切り替えます。



- 沸とうモード：沸とうするとブザーが鳴ります。
- 加熱モード、煮沸モード：設定した温度になるとブザーが鳴ります。

ご注意

- 注ぐときは本体を急に、または深く傾けないでください。湯が出切らず本体に残り、ふたからこぼれたり、本体を戻した際に残った湯が注ぎ口から飛び出してやけどの原因となります。



おしらせ

- 保温中に電源プレートから本体を取り外すと保温が終了します。
- 使用後しばらくすると、“カチン”と音がすることがありますが、これは熱せられた金属部分が冷めるときに発生する音ですので、製品に問題はありません。

▶ 保温を取り消すには

保温中に《スタート/取消》ボタンを押す

2

使い終わったら湯を捨てる

ご注意

- お湯を入れたまま放置すると、水あかが付着する原因になります。

| 使いかた

▶ 保温時間を変更するには

沸とうまたは加熱後の保温時間を10分～1時間まで10分単位で設定できます。
お買い上げ時の設定は30分間です。

① 待機中に《+》ボタンと《-》ボタンを同時に長押しする

加熱中や保温中は操作できません。

② 《+》ボタンまたは《-》ボタンを押す

《+》を押すと保温時間が長くなり、《-》を押すと保温時間が短くなります。

③ 《スタート/取消》ボタンを押す

保温時間が確定します。



▶ 保温中に設定温度を確認・変更するには

《温度設定》ボタンを押すと、現在の設定温度が表示されます。

設定温度を変更する場合は、続けて《温度設定》ボタンまたは《+》ボタン、《-》ボタンを押して設定温度を変更し、《スタート/取消》ボタンを押します。

設定温度を変更後、なにも操作しない状態であればらくたつと、設定温度の変更は行わずに保温状態に戻ります。

▶ 次回使うときは(メモリー機能について)

本製品にはメモリー機能が搭載されています。前回使用時の設定温度と保温時間が記憶されるため、同じ設定で使用できます。

おしらせ

• 電源プラグをコンセントから抜くと、設定温度と保温時間設定がリセットされます。

お手入れ・保管のしかた

ご注意

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いて、本製品が冷えてからお手入れをしてください。高温部に触れ、やけどの原因になります。
- シンナー・ベンジン・研磨剤入り洗剤・みがき粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面に傷が付く原因になります。
- 食器洗い機や食器乾燥機は使用しないでください。部品が変形し、故障の原因になります。

本体外部・電源プレート

ご注意

- 直接水をかけたり、丸洗いをしたりしないでください。

▶ 本体外部・電源プレートのプラスチック部分

- やわらかいふきんで拭きます。
- 汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに中性洗剤を含ませて拭き取ってください。

▶ 本体接続部・電源プレート接続部

- 乾いたやわらかいふきんで拭きます。



ふた

- やわらかいふきんで拭きます。
- 汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに中性洗剤を含ませて拭き取ってください。

本体内部

▶ 通常のお手入れ

- 水でよくすすぎます。その後、自然乾燥でよく乾かしてください。

ご注意

- 本体内の温度センサーを傷つけないでください。
温度センサーに強い力を加えると、温度をうまく感知できないなど故障の原因になります。

| お手入れ・保管のしかた

▶ 本体内部の汚れが落ちにくいときは(クエン酸洗浄について)

- 本体内部に白い汚れなどが付着する場合があります。これは水道水に含まれているカルシウムなどのミネラル分が水あかとなったものですので身体に害はありません。気になる場合は以下の手順に従いお手入れをしてください。

- ① 水を満水目盛り(MAX 0.8L)まで入れ、クエン酸(30 g程度)を入れてかき混ぜる
- ② ふたを取り付けて沸とうさせ、その後1時間放置する
- ③ ふたを外して湯を捨て、水でよくすすぐ。汚れが残っているときは、やわらかいスポンジでこすり落とす
- ④ クエン酸のにおいが気になるときは、水を満水目盛り(MAX 0.8L)まで入れて再度沸とうさせ、湯を捨て、水でよくすすぐ

保管のしかた

- お手入れした後はよく乾燥させ、包装ケースに収めるかポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。湿ったまま保管するとカビの発生や異臭・故障の原因になります。

故障かなと思ったら

— 修理を依頼する前にご確認ください —

Q1 作動しない。 沸とう前に止まってしまう。

- 電源プラグが抜けていませんか。
電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
- 本体が電源プレートに正しくセットされていますか。
本体を電源プレートの上に正しくセットしてください。
- 本体接続部および電源プレート接続部に金属片やごみが付着していませんか。
いったん電源プラグをコンセントから抜き、本体接続部や電源プレート接続部に付着している金属片やごみを取り除いてください。
- 水が入っていない状態や水量が少ない状態で加熱したり、水以外の液体を加熱したりしていませんか。空だき防止機能または温度異常検知機能が作動して、電源プレート接続部の加熱を一時的に停止します。いったん電源プラグをコンセントから抜き、本体と電源プレートの熱を十分に冷ましてから水を入れて、お湯を沸かしてください。
- 電源プレート、電源コード、本体が変形していませんか。
電源プレート、電源コード、本体が変形した場合は、使用を中止して、販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。

Q2 沸とうしてもすぐに電源が切れない。

- 本製品は、設定した温度になるとブザーが鳴り、設定した時間まで保温します。

Q3 注ぎ口から湯がふき出る。

- 満水目盛(MAX 0.8 L)以上の水を入れていませんか。
水は満水目盛(MAX 0.8 L)以下にしてください。
- 水が0.14Lより少ない状態で加熱していませんか。
水は0.14L以上入れてください。

Q4 湯沸かし中の音がいつもより大きい。

本体内部に湯あかなどが付着して汚れていませんか。湯あかなどの汚れがひどくなると、湯沸かし中の音が大きくなります。クエン酸洗浄を行ってください。

Q5 操作部をタッチしても反応しない。

- 本体を電源プレートから取り外していませんか。本体が電源プレートにセットされていないときはセンサーは反応しません。本体を電源プレートに確実にセットしてからタッチしてください。
- 次の場合は、センサーが反応しないことがあります。
 - 素早く押したとき
 - 指やボタンがぬれていたり、汚れているとき
 - 指にばんそうこうや傷テープをしているとき

Q6 加熱できない。

- 加熱中に電源プレートから本体を取り外していませんか。加熱中に電源プレートから本体を取り外すと加熱が停止します。再度加熱するときは、電源プレートに本体をセットして操作しなおしてください。

Q7 沸とうしない。加熱に時間がかかる。

- 設定温度が低い場合は沸とうしません。
- 再加熱した場合、設定温度になるまで時間がかかることがあります。

Q8 水温表示が「100°C」になる前に沸とうする。

- 気圧によるものではありません。気圧によって沸点が変わるので「100°C」以下で沸とうすることがあります。

Q9 設定した温度よりも水温表示が上がることもある。

- 水量が少ない状態ではありませんか。水量が少ない状態で加熱すると、加熱完了後にヒーターの余熱で設定した温度よりも水温表示が上がる場合があります。水量は0.14L～0.8Lにしてください。

故障かなと思ったら

Q10 保温が停止する。

設定した保温時間が経過していませんか。
保温は最長1時間です。設定した保温時間が短いときは保温時間を変更してください。▶「保温時間を変更するには」**16ページ**

Q11 湯に白い膜状のものが浮遊している。

ミネラルウォーターやアルカリイオン水をお使いになっていませんか。または、お手入れなしで長期間お使いになっていませんか。
水に含まれるカルシウムや鉄分などのミネラル成分によるもので、本体内部の腐食や異常によるものではありません。ただし、ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分が多い水をお使いになると、湯あかが付着しやすくなります。汚れがひどい場合は、クエン酸洗浄を行ってください。

Q12 本体内部に赤さび状の斑点や虹色などの変色がある。

ミネラルウォーターやアルカリイオン水をお使いになっていませんか。または、お手入れなしで長期間お使いになっていませんか。
水に含まれるカルシウムや鉄分などのミネラル成分によるもので、本体内部の腐食や異常によるものではありません。ただし、ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分が多い水をお使いになると、湯あかが付着しやすくなります。汚れがひどい場合は、クエン酸洗浄を行ってください。

Q13 注ぐときや、ふたを開閉するときに“カラカラ”と音がする。

万一転倒したときに、湯が流出するのをおさえるためのおもりが動く音です。故障ではありません。

Q14 加熱中に「カチッ」と音がする。

加熱や温度調節をしているときに断続的に「カチッ」と音がしますが、故障ではありません。

Q15 使用后しばらくすると、“カチン”と音がする。

熱せられた金属部分が冷めるときに発生する音です。故障ではありません。

Q16 表示部に「...」と表示される。

電源プレートから本体を取り外していませんか。
電源プレートに本体をセットすると元の表示に戻ります。

Q17 表示部に「C01」と表示される。

本体に水が入っていない状態や水量が少ない状態で加熱していませんか。空だき防止機能が動いてブザーが鳴り、表示部に「C01」と表示されます。電源プラグをコンセントから抜き、本体に水を入れてからもう一度加熱してください。

Q18 表示部に「C02」と表示される。

温度センサーが異常な温度を検知した際に表示されます。電源プラグをコンセントから抜き、本体の熱を充分に冷ましてから水を入れて、加熱してください。

Q19 表示部に「C03」と表示される。

高地で使用した際に沸とう時に100°Cまで上がらない場合に表示されます。

Q20 表示部に「EOX」(Xは1～3の数字)と表示される。

故障の可能性があります。サポートセンターまでお問い合わせください。

Q21 誤動作する。

周囲で動作している電化製品の影響を受けて、まれに誤動作などの異常が発生することがあります。異常が見られる場合は、他の電化製品からできるだけ離して使用してください。

| 仕様

品名(型番)	温度調節電気ケトル(SK-D271)
電源	交流100 V、50/60 Hz
消費電力	900 W
質量(約)	0.65 kg (本体・ふた) 1.03 kg (電源プレート含む)
外形寸法(約)	幅 285 mm × 奥行 220 mm × 高さ 193 mm (電源プレート含む)
電源コードの長さ(約)	1.2 m
定格容量	0.8 L
原産国	中国

- 特定地域(高地、厳寒地など)では、所定の性能が確保できないことがあります。
- 外観、仕様などを予告なく変更する場合があります。

重要

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

| 部品・消耗品



部品・消耗品のご購入は、二次元コードを読み取るか
または、「シロカ 部品」で検索してください

部品名	部品コード
ふた	SK-D271LK

保証とアフターサービス

— 必ずお読みください —

▶ 保証書(裏表紙)

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

▶ 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をご確認いただき、なお異常のあるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにお問い合わせください。

保証期間中(お買い上げ日から1年未満)の修理

保証書の規定により、無料で修理いたします。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年以上)修理

修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間です。消耗部品は保証期間内でも有料とさせていただきます。

▶ 補修料金のしくみ

補修料金は技術料(故障した製品の修理および部品交換などにかかる作業料金)と部品代(修理に使用した部品の代金)などで構成されています。

▶ 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造終了後5年です。その製品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といえます。

▶ 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。お客様ご自身の修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

— 長年ご使用の製品の点検を! —

- 長年ご使用の製品では、電気部品の経年劣化による発煙・発火のおそれがあります。
- ご使用前に必ずご確認ください、次のような症状がある場合は、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにご連絡ください。点検・修理費用などはシロカサポートセンターにご相談ください。
 - 電源プラグ・コードが異常に熱くなる
 - コードに傷がついたり、触れると通電したりしなかったりする
 - 本体が変形したり、異常に熱い
- 定期的に「安全上のご注意」や使いかた、ご注意を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

— お客様の個人情報のお取り扱いについて —

- シロカ株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

シロカの最新情報はこちらでチェック!



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/

保証書

持込修理

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は大切に保管してください。
お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでお問い合わせください。

品名：温度調節電気ケトル お買い上げ日： 年 月 日

型番：SK-D271 製造番号：

保証期間：お買い上げ日より本体1年間 販売店：店名・住所・電話

お客様：

ふりがな

お名前

ご住所

お電話

お願い：未記入の保証書の場合、お買い上げ日を証明するレシート、送り状などを必ず添付してください。証明がない場合、保証対象にならない場合があります。

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき弊社が無料修理いたしますので、製品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでご依頼ください。

ご転居、ご贈答などで、お買い上げいただいた販売店に修理が依頼できない場合は、シロカサポートセンターまでご連絡ください。
なお食品の補償など製品の故障以外の保証はいたしかねます。

保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- (1) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (2) お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
- (3) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
- (4) 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
- (5) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用など）に使用された場合の故障または損傷。
- (6) 本書のご提示がない場合。
- (7) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。お買い上げ日を証明するレシート、送り状などの証明書がない場合。通信販売、インターネットでお買い上げ時、ご注文確認メールなどご購入履歴を確認できるものご提示がない場合。
- (8) 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。（かすり傷、へこみなどを含みます）
- (9) 腐食による故障、及び損傷。
- (10) 消耗部品の交換。
- (11) お買い上げの製品が、有償無償を問わず譲渡されたもの（中古品）であった場合。

2. 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。

3. 本書に基づく無料修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のお買い上げ時の保証期間が適用されます。

4. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

シロカ株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F

19090014

お客様サポート

二次元コードからもアクセスできます

故障・修理のお問い合わせ、修理代金の目安、
使いかた・お手入れなどのよくあるご質問はこちら

シロカ サポート

検索



部品・消耗品の
ご購入はこちら



シロカサポートセンター ナビダイヤル 0570-001-469 受付時間：10:00～17:00（土日祝、弊社指定休業日を除く）
非通知設定の方は「186」をつけて発信番号通知のご協力をお願いします。サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。